

■TFC タイヤフィルムコート 製品詳細

1つの製品で2か所をフィルムコート！“愛車の印象をグッと引き締める”
「タイヤ・未塗装樹脂パーツ」の美観を長期間高めます

1.タイヤワックスではない次世代のタイヤメンテナンスに！

Tyre Film Coat

■タイヤ

2.未塗装樹脂パーツを復活フィルムコート！

Mitoso Film Coat

■カウルトップパネル

■フロントバンパー

■サイドモール ■ドアミラー

「色あせ」「変色」「劣化」「ひび割れ」を抑制し
新品のような深い上品な艶を長期間保持

■TFC効果は約3~6ヶ月持続。 ■MFC効果は約1年持続。

※コンディション等により変動いたします。

特殊樹脂フィルム＋紫外線吸収剤の㊟効果！
上質な艶を付加し劣化を抑制。汚れをガード！

■皮膜型特殊シリコンフィルム採用

（タイヤの動きに追随し）雨や洗車で流されません。

■UV吸収剤配合。紫外線を遮断します。

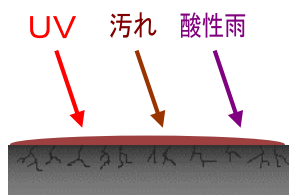
ひび割れ・色あせなどの紫外線劣化からタイヤを保護

■特殊オイル配合

特殊オイルが浸透し、撥水・撥油効果を発揮。汚れを寄せつけません。

○通常

○TFC施工後



タイヤ・樹脂パーツ



タイヤワックスにはできない フィルムコート=ボディーコーティングの価値

1.タイヤワックスではない次世代のタイヤメンテナンスに！

Tyre Film Coat

■タイヤ



フィルムコートは従来のタイヤWAXと違い

物理的にフィルムすることにより

タイヤの色あせ・ひび割れ・劣化を抑制。汚れをガード。

ボディーコーティングと同様にフィルムコートを行うことにより
美観を高め、犠牲的皮膜の役割を付加させます。

“特殊な弾性”のフィルムを採用することにより

タイヤの“呼吸”を遮ることや、ひび割れの心配がなく

重ね塗りが可能な次世代のフィルムコートです。

コートを繰り返すことにより更に艶や耐久性が増します。

お車の美観を高める=価値を上げる

2.未塗装樹脂パーツを復活フィルムコート！

Mitoso Film Coat

■カウルトップパネル

■フロントバンパー

■サイドモール ■ドアミラー

白く色あせてしまう未塗装樹脂。

メンテナンスする方が少なく、カサカサのパーツになってしまうことも。

白く色あせた未塗装樹脂を黒々した美観に。お車の価値を高めます。

■TFC タイヤフィルムコート

タイヤ施工時の作業手順・注意事項について

○作業手順



①洗浄
タイヤクリーナー（アルカリ洗剤）
を使用し汚れを落とす。



②乾燥
ブロアーなどで水気を完全に除去し乾燥させる。
水洗い後は乾き色になるまで乾燥させる。



③養生
ホイールの際をマスキングテープで
養生。
※付着した場合はすぐに拭き上げる。



④コーティング塗布
コート剤使用前には容器をよく振ります。
スポンジにコート剤を適量付け、まずは薄く全体にすり込むように塗り込みます。
※すぐに容器のキャップを閉め、水気、空気との接触を避ける。



⑤整え作業
追いかけ作業で今度は薄塗せず
全体を整えるように仕上げる。



⑥塗布完了
塗りムラ、塗り忘れ、異物の付着などが無いかよく確認し、作業完了。
⑦塗布後は約10分以上乾燥させ施工面を触らないようにする。

【注意事項】

- 水分のある状態でコーティングを塗布しない。定着性が損なわれます。
- 高温状態で作業しない。
- 屋外やほこりの多い場所で作業しない。
- 直射日光下では作業しない。

Q1,耐久性向上や剥離を抑制するには？（最大限適正効果を引き出す為には）

A1, 施行時にタイヤクリーナー（アルカリ洗剤）にてタイヤの様々な汚れを落として頂いた後、
施工頂くことにより、定着性向上、耐久性向上が図れます。
また、艶感を増したい場合は施工後10~15分後のフィルムコートに重ね塗りして頂くことにより
フィルムコートの層が厚くなりますので美観を増すことが可能です。

■TFC タイヤフィルムコート 未塗装樹脂パーツ施工時の作業手順・注意事項について

○作業手順

①洗浄

泥汚れなどがヒドイ場合は、カーシャンプーを使用し汚れを落とす。

②乾燥

ブロアーなどで水気を完全に除去し乾燥させる。水洗い後は乾き色になるまで乾燥させる。

③養生

パーツ際をマスキングテープで養生。

付着した場合はすぐに拭き上げる。

④脱脂

施工未塗装部分に油分がある場合は脱脂する。

⑤コーティング塗布

コート剤使用前には容器をよく振ります。

・ **パーツ表面がカサつきザラザラしていない場合はウエスに**コート剤を適量付け

薄く全体にすり込むように塗り込みます。ムラ防止につながり、少量で素早く施工できます。

・ **パーツ表面がカサつきザラザラしている場合はスポンジに**コート剤を適量付け

薄く全体にすり込むように塗り込みます。ウエスで施工してしまうとウエスが毛羽立つ恐れがあります。

※すぐに容器のキャップを閉め、水気、空気との接触を避ける。

⑥塗布完了

塗りムラ、塗り忘れ、異物の付着などが無いかよく確認し、作業完了。

⑦塗布後は約5分以上乾燥させ施工面を触らないようにする。

【注意事項】

■水分のある状態でコーティングを塗布しない。定着性が損なわれます。

■高温状態で作業しない。

■屋外やほこりの多い場所で作業しない。

■直射日光下では作業しない。

■パーツの状態がカサつきザラザラしている場合は

事前にお客様にカサついている形状は補修できないことを事前確認して下さい。